

独立行政法人 日本芸術文化振興会

第15回 契約監視委員会 議事要旨

開催年月日	平成28年6月17日(金)13:00～ 第1会議室
委員名簿 (敬称略)	伊田 若江(弁護士) 笹川 隆司(独立行政法人日本芸術文化振興会監事)※委員長 徳丸 吉彦(聖徳大学教授) 藤川裕紀子(独立行政法人日本芸術文化振興会監事)※委員長代理
議事次第	1.平成26年度・平成27年度連続一者応札・応募等事案フォローアップについて 2.平成27年度契約に関する点検・見直しについて 3.調達等合理化計画の自己評価の実施及び策定について 4.その他
審議点検対象	・平成27年度契約(契約額100万円以上)全件 ・平成27年事業年度自己点検評価報告書第13期の調達等合理化計画に係る内容
総括	(1)審議方法概要と結果 ・平成27年度契約に関する点検・見直しについては、契約方式、落札率、予定価格の算出方法に重点を置いて、審議点検対象から選定した7件について、所管課の説明を受け、点検審議を行った。 一般競争では、契約変更が行われた案件における調達方法や契約の変更手続きが適切であったか、落札率が低い案件における予定価格の算出方法が適切であったかなどの審議を行った。また、随意契約では、仕様書の内容、随意契約の理由、契約に至るまでの経緯が適切であったかなどの審議を行った。いずれの案件についても契約の妥当性を確認したが、引き続き、調達内容に応じた適正な契約方式を選定すべく努めるよう期待する。 ・平成27年事業年度自己点検評価報告書第13期の調達等合理化計画に係る内容及び平成28年度調達等合理化計画(案)について、事務局の説明を受け、点検審議を行った結果、了承する。